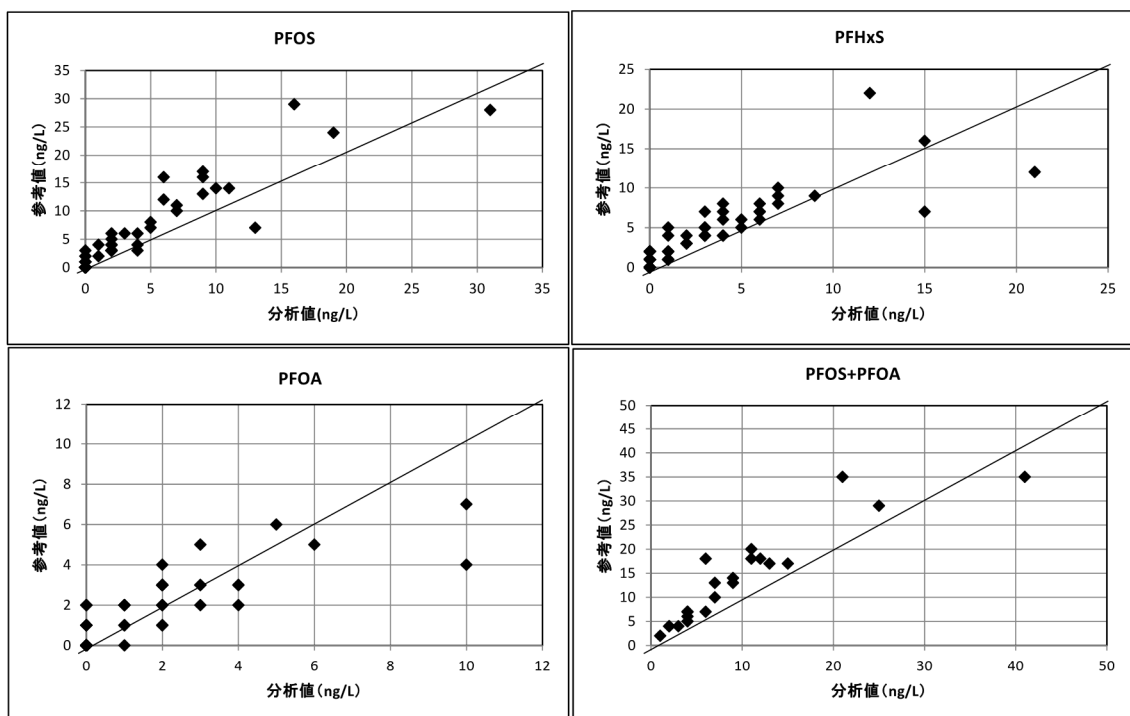


資料 3. 分析値と参考値の比較

分析値（本委託における分析値）は、2回/1月の頻度で実施しており、30回（1年）のデータである。比謝川取水再開後のデータ数は8点と少ないため処理性の傾向が不明確となることが危惧された。そこで、参考値（水質管理事務所の測定値）を用いて、分析値と参考値に相違がないことを確認した。

- 参考値と分析値の相関は資料図 3-1 に示すとおりであり、参考値は異性体を含む測定値で、一方、分析値は直鎖のみの測定値であることから、参考値がわずかに高くなる傾向がある。
- 横軸を実施設通水月数（資料図 3-2）、活性炭 1g 当たりの TOC 流入負荷量（累積）（資料図 3-3）にした場合、参考値と分析値の処理性変化の傾向はほぼ一致した。
- 横軸に活性炭 1g 当たりの PFOS 等流入負荷（累積）（資料図 3-4）、活性炭 1g 当たりの PFOS 等吸着量（累積）（資料図 3-5）にした場合、参考値の活性炭流入水濃度が高い分、横軸がずれる結果となっているが、参考値と分析値の処理性変化の傾向は類似していた。

以上のことより、参考値と分析値は一定の差がみられるが、処理性変化の傾向は類似しているため、分析値で今後の検討を行った。



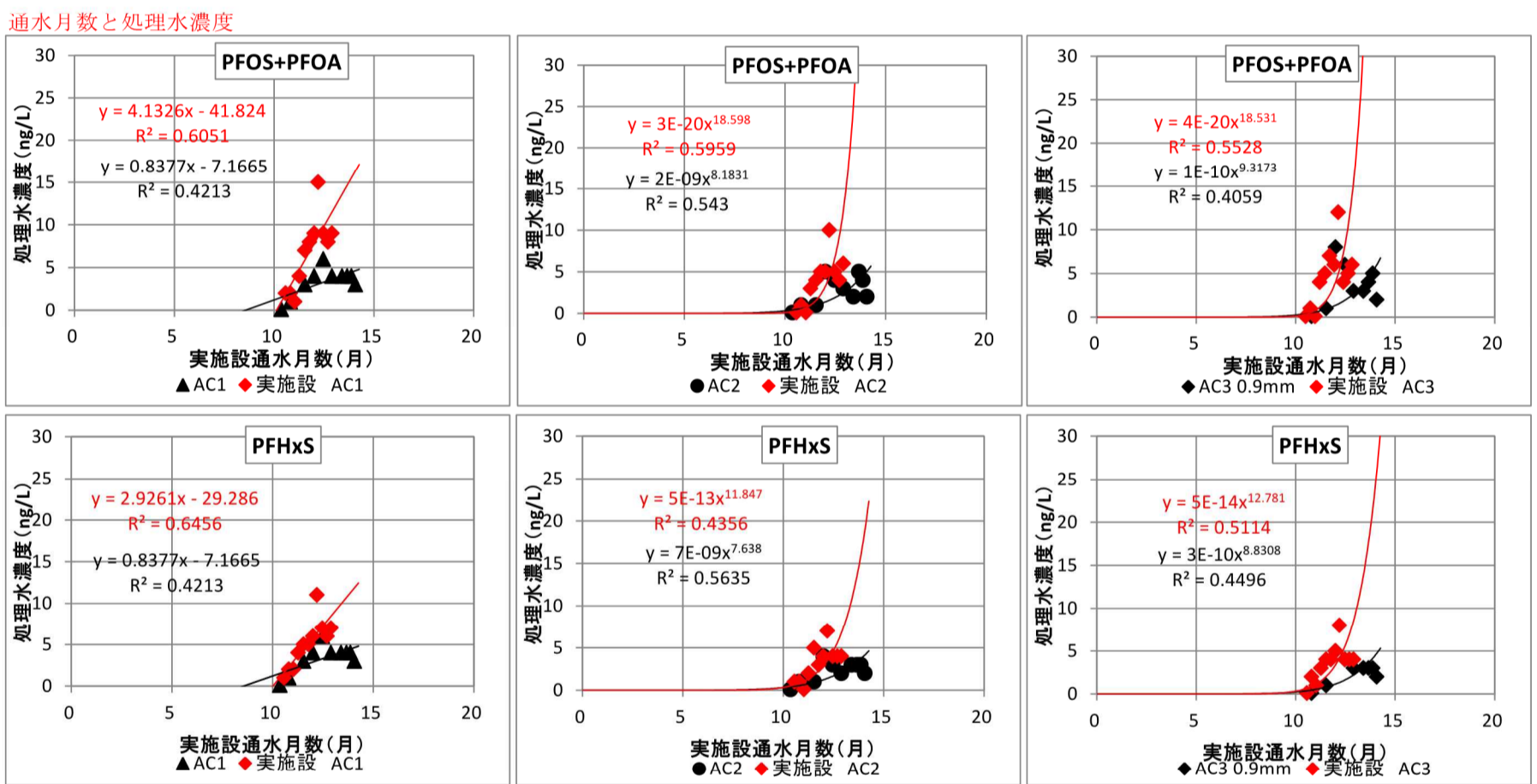
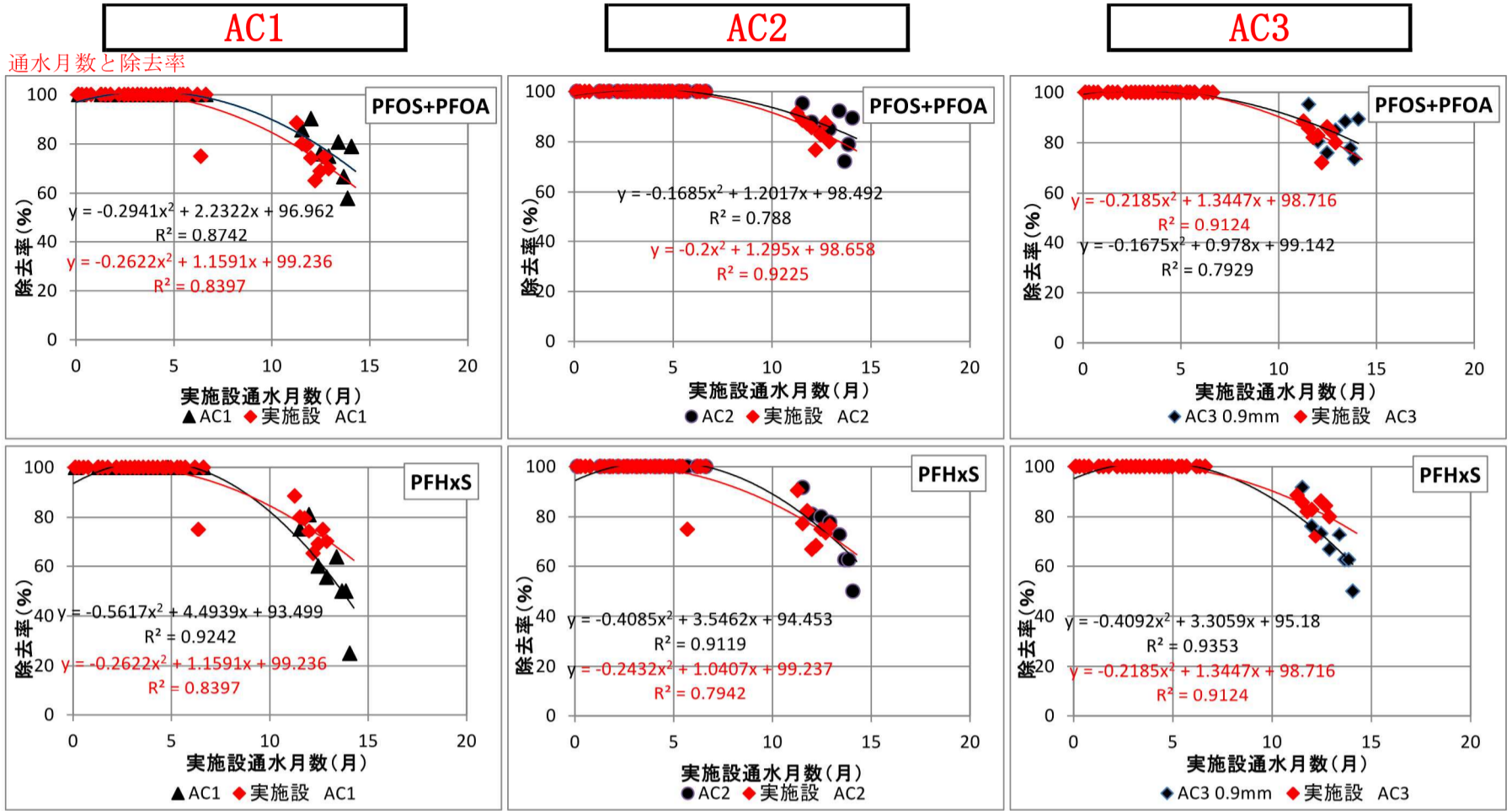
資料図 3-1 分析値と参考値の直接比較

資料表 3-1 分析値と参考値による処理性の傾向比較

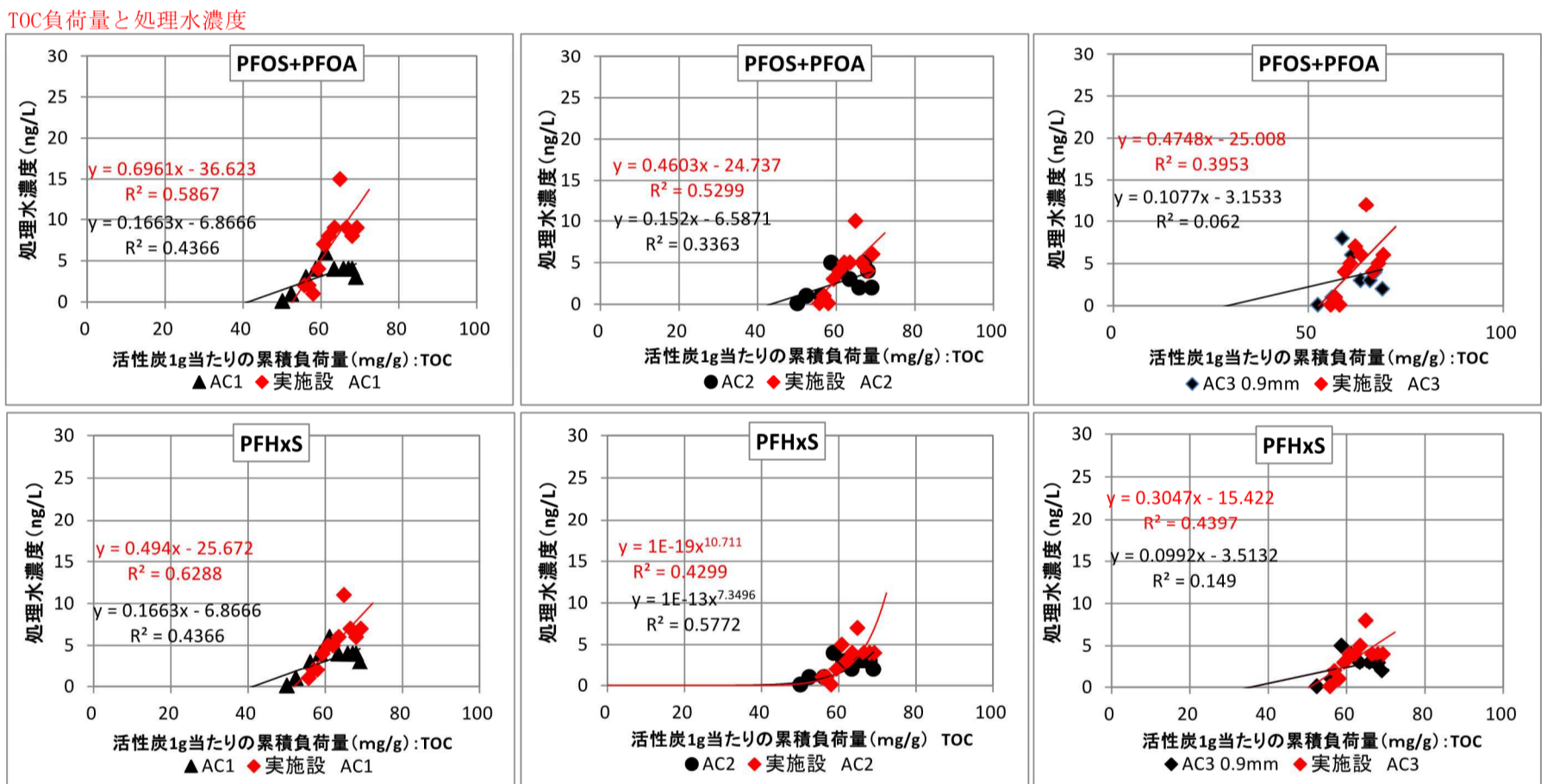
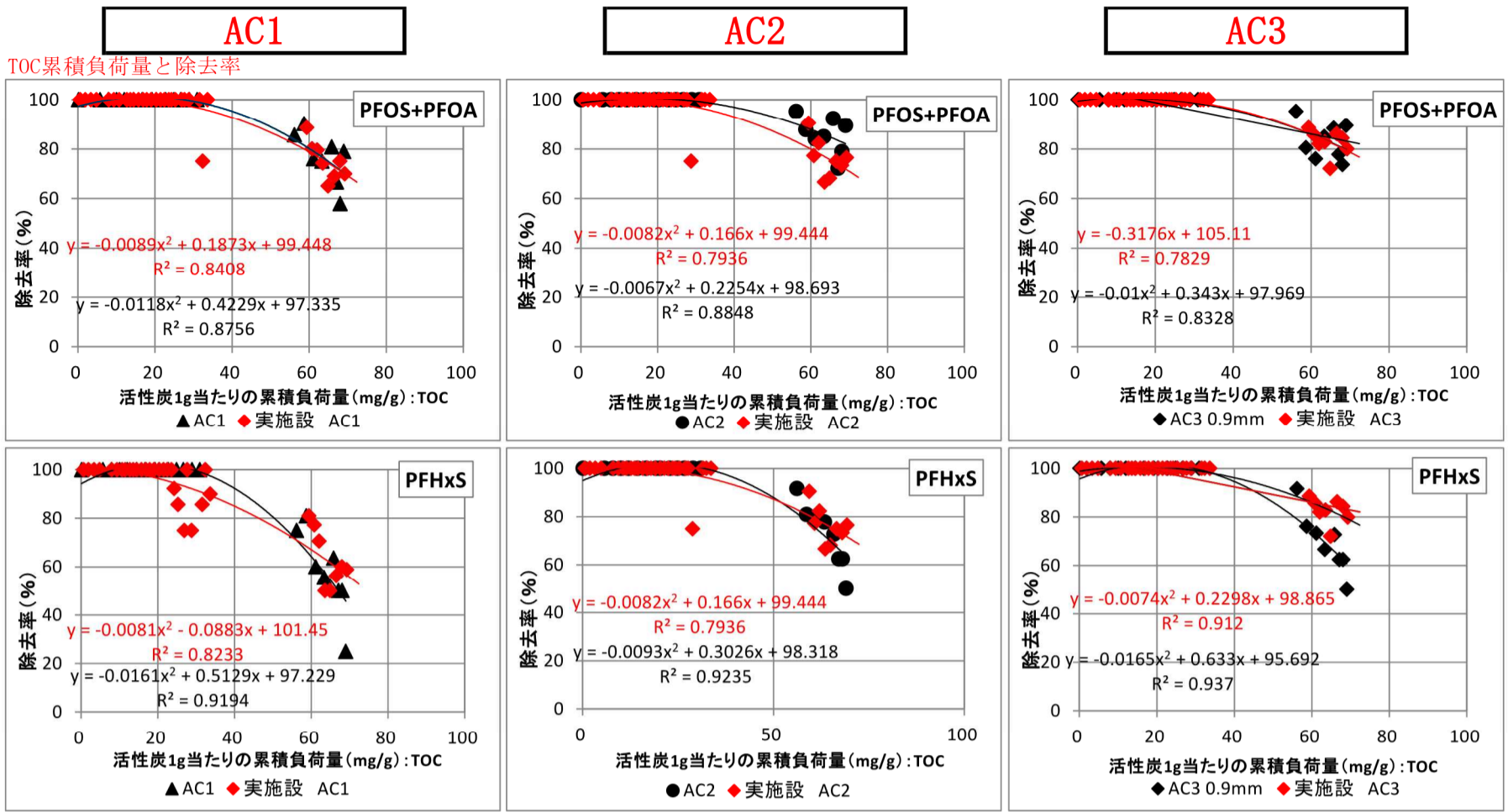
項目	横軸指標	縦軸指標	AC1	AC2	AC3
PFOS+PFOA	実施設 通水月数 (月)	除去率	◎	◎	◎
		処理水濃度	○	○	○
	PFOS流入負荷量 (ng/g)	除去率	傾向は似ているが横軸のずれがある		
		処理水濃度			
	PFOS吸着量 (ng/g)	除去率	傾向は似ているが横軸のずれがある		
		処理水濃度			
	TOC流入負荷量 (mg/g)	除去率	◎	◎	◎
		処理水濃度	○	◎	◎
平均					
PFH _x S	実施設 通水月数 (月)	除去率	◎	◎	◎
		処理水濃度	○	○	○
	PFH _x S流入負荷 量 (ng/g)	除去率	傾向は似ているが横軸のずれがある		
		処理水濃度			
	PFH _x S吸着量 (ng/g)	除去率	傾向は似ているが横軸のずれがある		
		処理水濃度			
	TOC流入負荷量 (mg/g)	除去率	◎	○	○
		処理水濃度	◎	○	◎
平均					

◎：参考値と正式分析値は傾向が一致

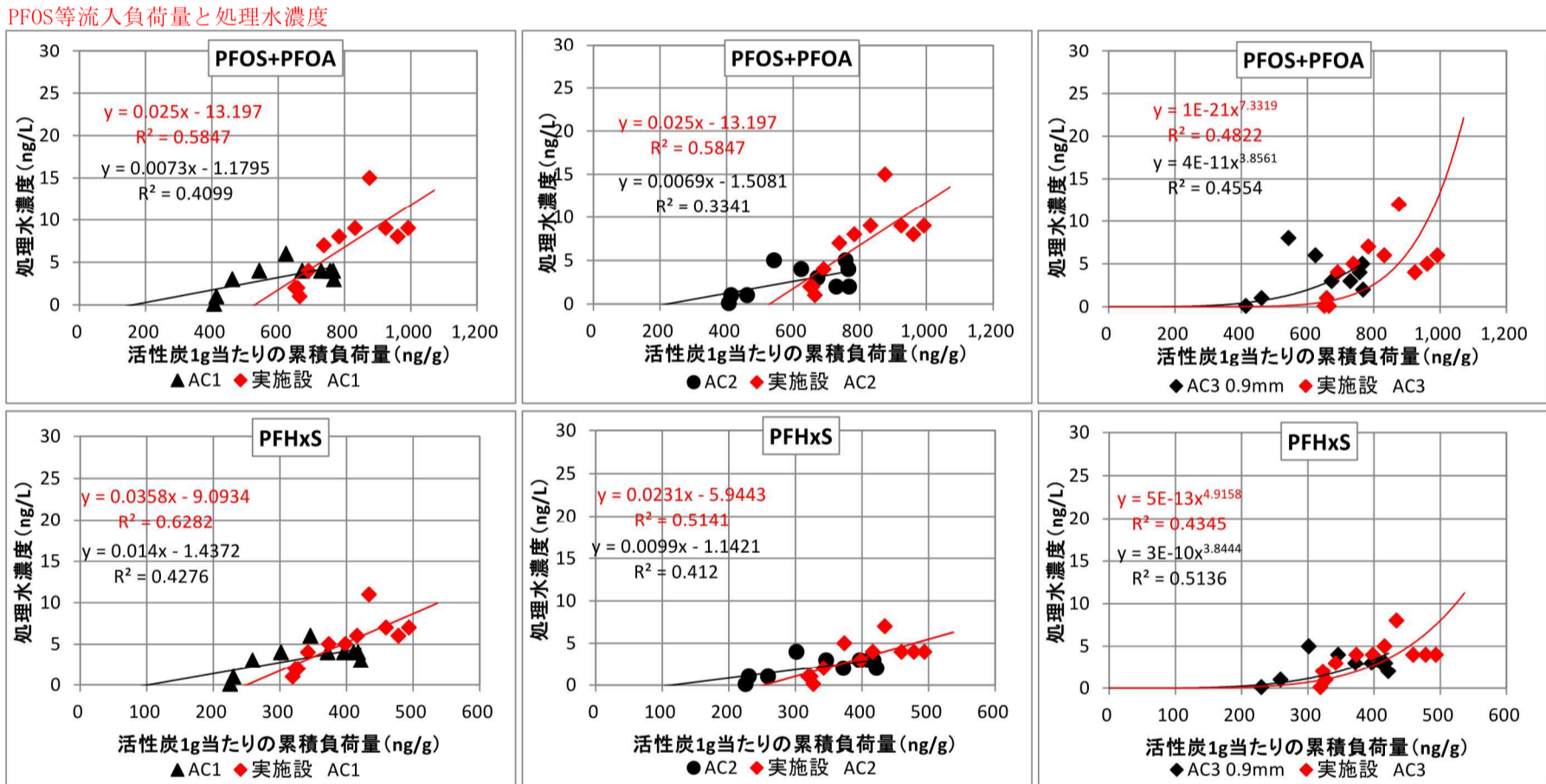
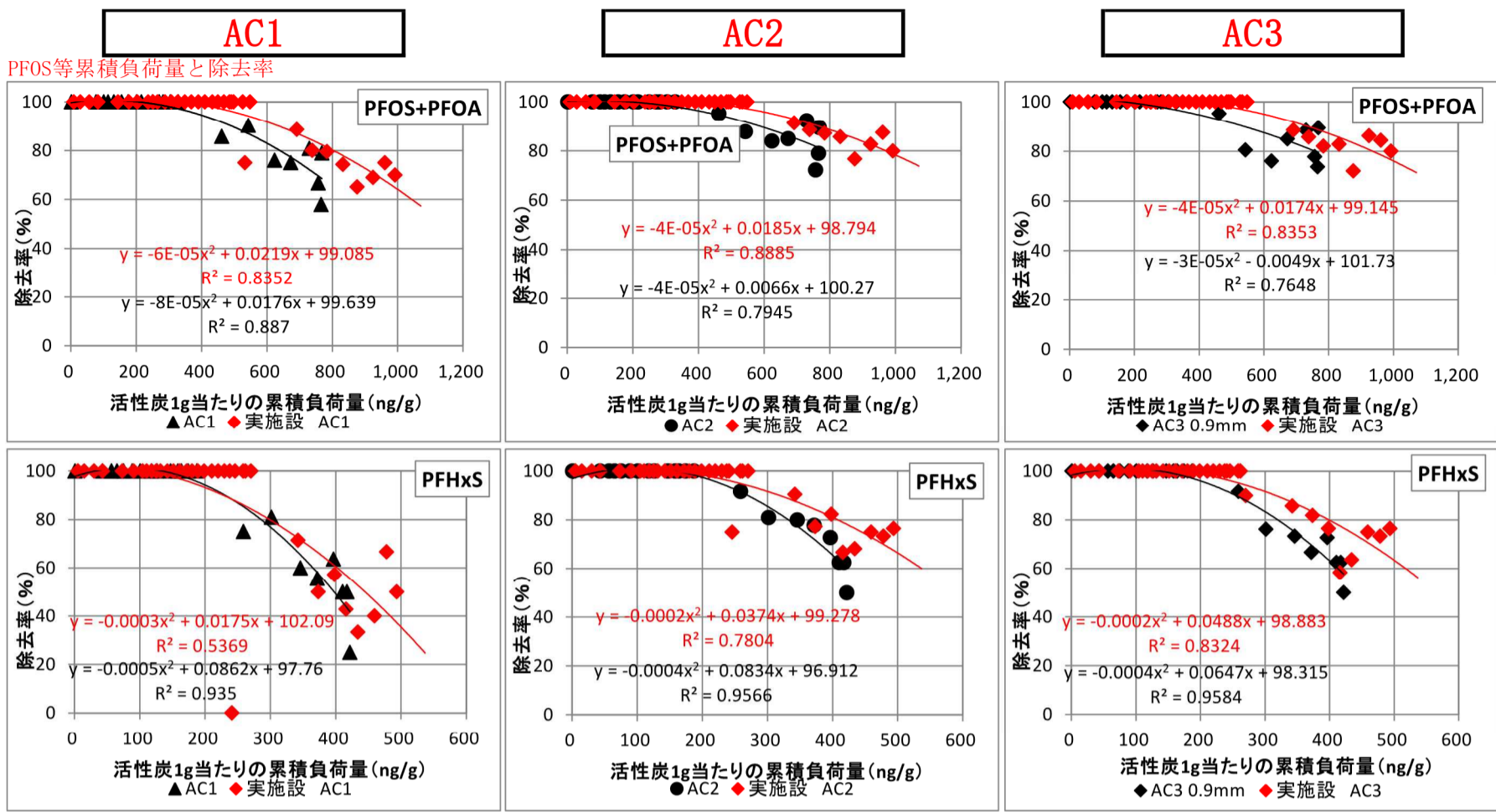
○：若干のずれがあるが傾向は一致



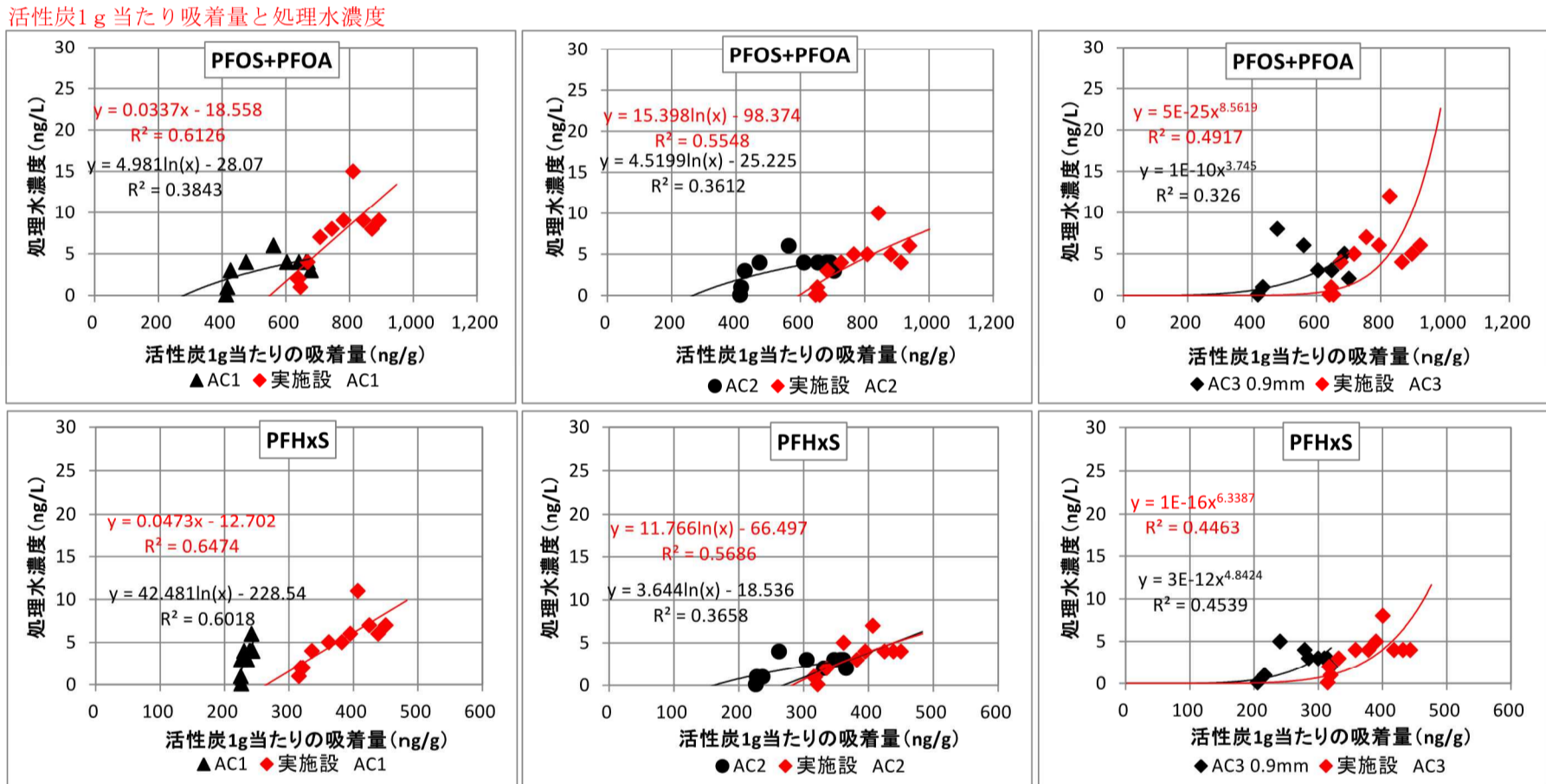
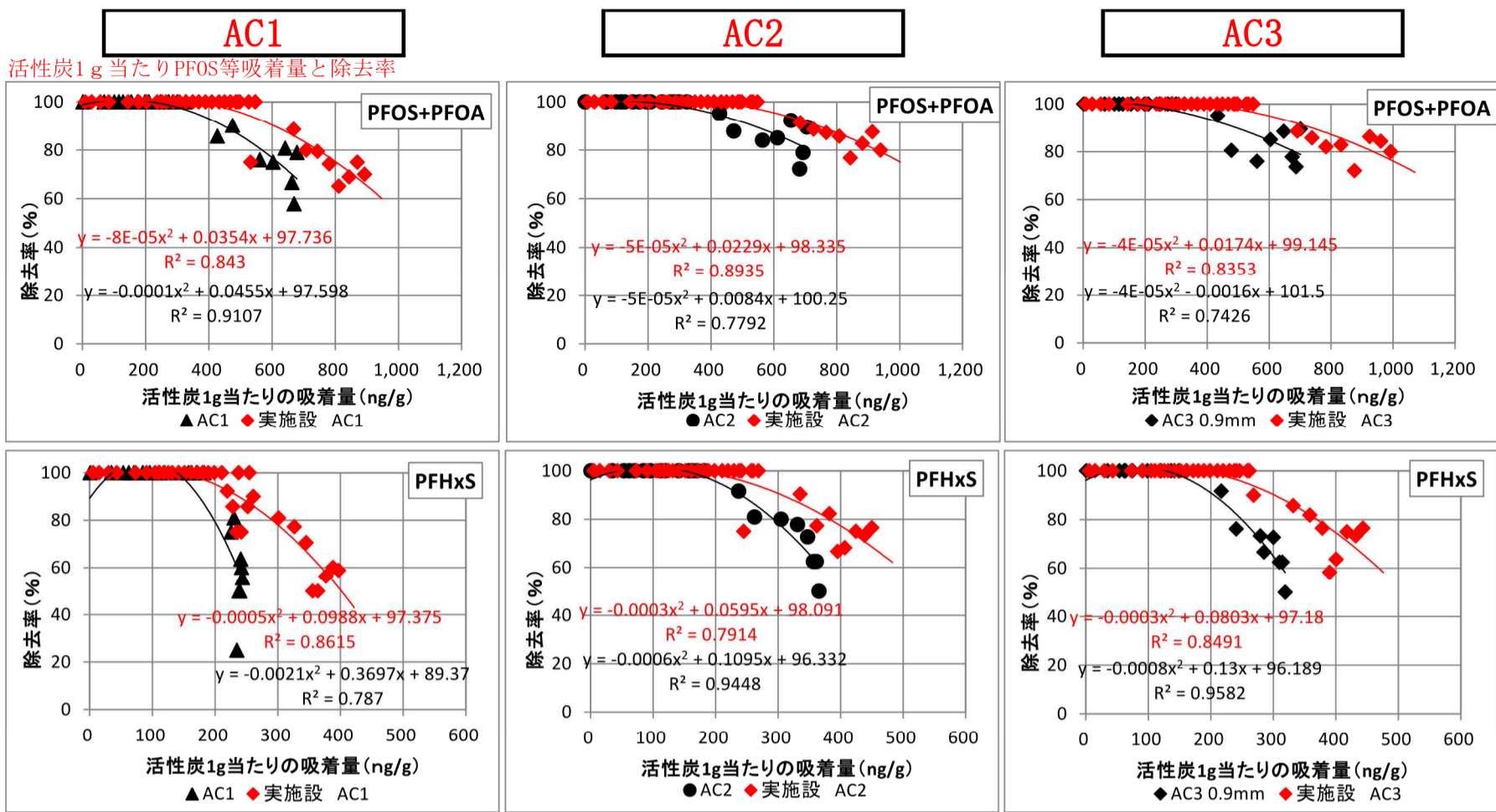
資料図 3-2 実施設通数月数と除去率、処理水濃度



資料図 3-3 TOC 流入負荷量（累積）と除去率、処理水濃度



資料図 3-4 PFOS 等流入負荷（累積）と除去率、処理水濃度



資料図 3-5 PFOS 等吸着量（累積）と除去率、処理水濃度